



建交労



2019年12月24日
 建交労神奈川県南支部
 2019年秋季年末闘争
 2019年度推進ニュース⑨通算168号
 発行責任者 佐藤 章

自交総連・箱根登山ハイヤー支部の 労働争議完全勝利解決おめでとう！

12月23日、自交総連神奈川地方労働組合箱根登山ハイヤー支部の不当労働行為事件完全勝利解決報告集会が小田原市民交流センターで行われ多くのなかまがお祝いに駆けつけました。神奈川県南支部からは、清野副委員長（三昭運輸分会分会長）と赤羽が参加しました。

小田急電鉄が100%の株主である箱根登山ハイヤー（株）における争議の経緯は、会社と私鉄総連に加盟する箱根登山ハイヤー労働組合が一体となって旧湯本労働組合の中心メンバー（現自交総連箱根登山ハイヤー支部）に対する執拗な嫌がらせ・脅迫・暴力・支配介入・不誠実団交そして2018年4月11日に現自交総連箱根登山ハイヤー支部の委員長である那賀智恵美さんの不当配転へとエスカレートしたものでした（10月1日には山田みや子も不当配転）。



完全勝利報告集会の最後に参加者がそろって記念撮影

この攻撃に対し那賀智恵美さんたちは、団交や県労委へのあっせんで対応しましたが会社の姿勢は変わらず単独では勝てないと判断、2018年5月に自交総連への加盟を決定してたたかいを広げ、同年8月22日に県労委に不当労働行為の救済申し立てを行い、さらには今年5月に支援共闘会議を結成して運動を大きく広げました。小田急電鉄本社・小田急電鉄株主総会・箱根ホールディングスをはじめ湯本駅・小田原駅・新松田駅・新宿駅前での宣伝や要請行動などを旺盛に展開、県労委には不当配転撤回を求める全国からのFAX嘆願書送信で県労委のFAX受信機が休みなく稼働する状況も生まれたといえます。

また、闘争経過を組合掲示板に絶え間なく掲示したことで他労組から2名の仲間が加入（現組合員数12名）するなど会社を追い込み、ついに11月12日県労委和解協議で不当配転を撤回させ、「会社側が遺憾の意を表明する」完全勝利を勝ちとりました。

喜びに満ちた報告集会で参加者が次々にお祝いの挨拶をするなかで、神奈川県南支部も挨拶の指名を受けて清野副委員長が三昭運輸分会の争議報告と支援を訴え、赤羽からは箱根登山ハイヤー支部の争議勝利を祝うとともに救済申立から1年3カ月で勝利を勝ちとったなかまの頑張りに敬意を表しました。三昭運輸分会争議が学ぶべき闘争でした。